

第4394号

(第3種郵便物認可)

DOD出版
センター

研文社尼崎工場

見学開催

オンデマンドの実例を報告

ト、高品質なオンデマンド印刷を提供する目的で、光和コンピューターや印刷会社の出資で設立したデジタル・オンデマンド(DOD)出版センター(沼野英生社長)が、7月24日、同社システムに関心のある出版社を募

り、参画する印刷会社、研文社（本社・東京）尼崎工場の見学と、せせらぎ出版・山崎亮一社長によるオンライン出版活用の実例報告を行った。当日は14社18人が参加。見学の冒頭、関西では自動車メーカーの方々がログ印刷などが主要とい

の高さに驚き、当社のノウハウが役立てるのではDODに参加した。車の世界で磨いてきた原価低減を提供していくたいい」とあいさつ。

ゾーン、原稿チエックなどすべての工程を完結させるソリューションルームを見学した。

効「オールカラー」で、少額の割増料金などを挙げ、「これまで千数部刷らなければ単価が大幅にならなかつたが、DODなら50部でも可。それを書いて7刷までいった商店もある」と実例を話した

で、ディーに動いてくれる。なんに相談すればスピーチがいい。『装幀家の反応』とし、『装幀家の反応』ではない。一番必要なことは、増刷できない本を悪くない。最後にDOD出版セン

「増刷できない本をなくすことが一番大事」と強調する山崎氏

う研文社の網野勝彦社長は「自動車業界ではロットが少ないからといって、単価が上がるのを認めてくれない。本の印刷価格のあまり

• 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

システムの長所として、
「10～300部ほどのソ
フトカバーが安価」「品

一方、短所としてカバーや帶、見返しの問題、上製本の際の別料金

国どこのからでも使える。
どのような相談でもして
ほしい。様々な対応がで
きらん」といふ講義

タ・沿野社長が「受難のアート」を主張する。アートの表現は、注アート・プログラムは全く国じこからでも使える。どのような相談でもしてほしい。様々な対応ができる」と活用を呼びかけた。